教育目標「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」
重点目標 「 豊かな心　確かな学力　健やかな身体 」

中 朝日子（あさひこ）

佐渡市立畑野中学校　学校だより
令和５年11月16日（木）　第５号
著・編　校長　福井 晴人（TEL 66-2058）
http://hatano-js.sado.ed.jp/
E-mail hatano-js@sado.ed.jp

素晴らしい学習発表会に拍手！

10月21日に令和５年度畑野中学校学習発表会が行われました。例年どおり、各学年及び全校の合唱発表会、畑野音頭、生徒会企画による有志発表が行われました。どの発表も素晴らしく、一生懸命な気持ちが伝わってきました。発表者、そして発表会を支えてくれた全員に拍手と感謝です。

文化祭実行委員長・３年合唱指揮　Ｋさん

僕が実行委員長として頑張ったことは、全校合唱の紹介です。みんなが一生懸命練習してどんな風に歌うか、それを伝えられるように頑張って文章を考えました。学習発表会では、全校のみんなが楽しく歌うことができて、とてもよかったです。

３年生の合唱の指揮で頑張ったことは、曲の雰囲気に合わせて強弱を変えたことです。例えば、曲の最初では指揮の振りを小さく、サビの部分では、指揮の振りを大きくするように頑張りました。また、最後の部分は、曲に合わせて音程があげられるような振りにしました。動画などを参考に一生懸命練習してきてよかったです。当日は３年生らしく素晴らしい合唱ができました。３年生のみんなに感謝です。

１年合唱指揮　Ｎさん

良かったこと頑張ったことは、声の大きさ、男声パートの入り、指揮を見る、笑顔で歌うなどです。練習のときからこの４つをみんなで頑張ってきました。最初の練習のときは、音程が分からない人や歌詞が分からない人などもいましたが、みんなでパートごとに音程を確認したり、全体で合わせて、改善点を探したりしてとても良くなりました。体育館で歌うとビビってしまい声が出なくなることもありましたが、先生方の支援もあって、本番はビビらずに歌えました。最後までやりきれて良かったです。１年生の皆さん、市中発表会でも頑張ろう！そして来年の合唱は、新１年生のお手本になるような合唱をしましょう！

２年合唱指揮　Ｆさん

２年生の合唱は、最初から皆の心が一つでは、ありませんでした。最初の練習では、女性パートの声が小さくて、不安でした。しかし、何度も練習を重ねていくうちに、いい歌声になっていきました。そしてパートリーダーのおかげで、皆が一つになり、素敵な歌声を響かせることができました。自分自身は、指揮者に向いていないと思っていました。しかし、いざ指揮者をやってみると、とても楽しかったです。２年生の皆には本当に感謝しています。ありがとうございました。

また、今年の３年生の歌を聴いて、とても感動しました。今年の３年生よりも、いい歌声を皆さんにお聞かせしたいと思います。

畑野音頭　Ｔさん

畑野音頭で頑張ったことは、初めて踊る振り付けを覚えることです。何回か練習するうちに少しずつ覚えることができました。踊る時に気を付けたことは手の高さです。そして、元気良さを出すために歌詞の「ソレ！」に合わせて声を出すことにしました。

発表会当時は何よりも、畑野音頭の紹介をすることを頑張りました。当日までに友だちが練習に付き合ってくれたおかげで、スムーズに紹介することができました。踊りは他の人を見ている余裕はなかったけれど、間違えずに踊ることができ、みんなと楽しく踊ることができました。畑野音頭をこの１年生のみんなと踊ることができて良かったです。

全校合唱パートリーダー　Ｉさん

全校合唱は、１年生、２年生、３年生が一つとなり、大きく美しく歌うことができていたので、とても素晴らしかったと思います。

全校で練習する機会が少なかったにもかかわらず、畑野中学校のよさが詰まった全校合唱でした。

３年生が中心となって引っ張り、２年生が３年生を支え、１年生が負けないようにそれらに付いていく、そういった学年の役割や仕事を、それぞれが頑張ってきました。僕自身もパートリーダーとしてクラスの合唱練習や全校合唱練習など、様々な場面で頑張りました。最後に、１年生、２年生には来年も頑張ってほしいと思います。

「佐渡市読書感想文コンクール」一席おめでとうございます！

10 月 24 日に佐渡市読書感想文コンクール佐渡地区審査会がありました。畑野中からもたくさんの入賞がありました。中でも３年生の T さんが、１席に入賞し、県審査へ進みました。大変素晴らしい感想文で、私もとても感動し、共感しました。皆さんにも一読してほしいと思い、全文を掲載します。

今、やりたいことをやる

３年　　T さん

「もういやだー!!!コロナふざけんなー!!」
この言葉を放った鈴音は、私に、これからの人生において大切なことを教えてくれた。

突如として、私たちの「日常」を奪ったコロナ禍。「スクラッチ」は、コロナ禍に傷つき、変化に絶えながらも、葛藤し、自分の気持ちに向き合い、成長していく、中学三年生の鈴音と千暁を中心に描かれる物語だ。私はこの本を読み、自分自身と重なる点がたくさんあるなと感じた。

バレー部の部長である鈴音は、中学生活の全てを部活に注いできたが、コロナウイルスの影響で、中学最後の大会がなくなってしまった。美術部の部長である千暁も、市の展示会での絵の審査がなくなった。一昨年、去年と続けて特選をもらえていて、今年も特選をねらっていた中でのことだった。

私は、小学六年生の時に、コロナウイルスの影響を大きく受けた。スポーツが大好きな私は、水泳大会や陸上大会が次々と中止になり、とても悔しい思いをした。五年生の時には、市の水泳大会で優勝し、陸上大会でも入賞することができたので、「今年も結果を残したい！」という千暁と同じような思いが、悔しいという気持ちをさらに強くさせた。また、私は民謡を習っている。なので毎年、夏祭りの盆踊りに参加していたが、コロナでその機会もなくなり、悲しく、泣くほど悔しかった。自分ではどうすることもできない「コロナで中止」というのが、もどかしかった。コロナがなかったら味わうことができたはずの感動は、もう他の代わりのものでは得ることができないのだと思った。その大会、そのお祭りでしか味わうことのできない、人生で一度きりの楽しさや喜びを失ったのだ。私は、この悔しさをどうにかして晴らせないのかと悩み、すぐには気持ちを切り替えることができなかった。

大会がなくなった鈴音は、そのやるせなさに苦しんでいた。私は、鈴音がその苦しみを乗り越えて、前に進んでいく姿が印象に残った。千暁は、コロナがきっかけで自分と向き合い、絵を描く楽しさを見つけ、志望校を美術科のある高校に変えたけれど、私は何も変わっていないのではないかと鈴音は悩んでいた。しかし、そんな時、千暁の「目の前の、今やりたいことをするんでいいじゃん。変わらないって、強さだと思う。」（要約）という言葉を受けて、私は私の道を貫く。がむしゃらに、今を突っ走るんだと考えを変えた。私は、その鈴音の考え方や生き方に、強く胸を打たれた。

大会やお祭りが中止になった私は、すごく悔しかったけれど、コロナのせいだと嘆くだけで、千暁のように次に何かをつなげようとはしなかった。しかし、鈴音が、今やりたいことをやって、前に進んでいくと決めた場面を読んで、私もそういう生き方をしたいと思った。これから、また何か、自分たちの力はどうにもできないことが起こったとしても、鈴音のように、今と向き合い、今できることをやって、乗り越えたい。

もう一つ、印象に残った場面がある。それは、鈴音が何のために高校でもバレーを続けていくのかを考えるシーンだ。「プロになりたいとかはわからないけど、部活は中学の私の全部で、それをこのまま終わりにしたくない。バレーを続けることは、希望じゃなくて、私の意思になった。」私は、この場面に深く共感した。なぜかというと、私もこのような気持ちになったことがあるからだ。

私は、中学でバドミントン部に入り、二年生の夏からは部長になった。二年生の頃は、なんとなく、高校でもバドミントンは続けようかなと思っていたが、三年生になって最後の大会を経験し、その思いは確かなものになった。今まで打ち込んできた全てを、ここで終わりにしたくない。そして、高校ではもっと強くなって、大会で上位に入り、活躍したいという目標もできた。その目標を達成するためには、たくさん練習して、もっと技術を上達させなければならない。決してあきらめず、今やるべきことをしっかりとやり遂げたい。

私はこの本から、どんなに悔しくても、その気持ちを原動力にして、次につなげることの大切さを学んだ。変化していないのではないかと悩んでも、今やりたいことを一生懸命やればいいという生き方も学んだ。もし、途中で後悔しても、自分のペースで、一歩ずつ前に進んでいこうと思った。

私はこれから、この本から学んだことを忘れずに、高校での目標を必ず達成したい。また将来、仕事や家族のことで悩んでも、過去のことばかりにとらわれず、今やるべきことをやるという気持ちを常に持って行動したい。

コロナ禍を経て、私は、当たり前は急に変わる、先のことはわからないと感じた。なので、今この瞬間を大切に、生きていきたい。一度きりの人生、今、やりたいことをやる。

文化の秋、生徒の素晴らしい活躍です。

【第 20 回市展】　10 月 7 日（土）～10 月 11 日（水）

○　教育長賞

３　年　Ｈさん

「大丈夫は大丈夫じゃない」

○　出品者

２　年　Ａさん　「火と色」
　　Ｋさん　「キツネと悲しい冬」
　　Ｎさん　「くもと星」
　　Ｈさん　「桜さく春」
　　Ｈさん　「おいしいスイカ」
　　Ｗさん　「一匹オオカミ」

３　年　Ｔさん　「日常の中で」

【入間市交流作品展】

○　出品者

３　年　Ｋさん　「宝の島佐渡」

【佐渡市読書感想文コンクール佐渡地区審査】

○　課題図書の部

３　年　１席　Ｔさん　「今やりたいことをやる」

○　自由図書の部

１　年　２席　Ｓさん　「奇跡のバックホーム」
　　３席　Ｎさん　「『傷のあるリンゴ』を読んで」
２　年　３席　Ｈさん　「桜良に教えてもらったこと」
３　年　３席　Ｋさん　「恵みの命に感謝『ハッピーバースデー』から学んだこと」
　　３席　Ｈさん　「『命の重さ』を読んで」

【科学作品展】

○　奨励賞

１　年　Ｔさん　「おし花」
　　Ｎさん　「オリジナルルアー」
　　Ｎさん　「死海ではなぜ浮けるのか？」

【科学研究発表会】

○　奨励賞

１　年　Ｙさん　「りんごの変色」

【野球部　佐渡市中学校野球新人戦大会】

○　３位

【バドミントン部　佐渡新人選手権】

○　女子ダブルスＢクラス２位

１　年　Ｋさん・Ｓさん